平成２７年度　　事務事業評価シート

章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	Ⅳ	自立した暮らしへの支援
目標		生活基盤の弱い立場にある市民の生活安定と経済的自立の促進を図る。ひとり親家庭等の社会参加機会の拡大及び生活の安定を図る。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標①	自立支援教育訓練講座受講件数	件	3	2	1	2	0	0	0		6

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　自立した暮らしへの支援	①　生活安定対策の推進	・民生委員児童委員や関係機関との連携を図り、経済的に困窮している低所得者や生活上の問題を抱える市民への相談や支援に努めます。
1-②	1　自立した暮らしへの支援	②　ひとり親家庭への支援	・関係機関と連携を図り、ひとり親家庭への総合的な相談体制の充実や支援制度の普及・活用に努めます。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】 名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案	Check 第２期基本計画第３次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H28以降】
1	1-①	低所得者等援護対策・たすけあい金庫事業	保健福祉部	社会福祉G	S53	－	ソフト	一般会計	登別市社会福祉協議会が行なうたすけあい金庫事業の安定的な貸付を継続し、低所得者世帯の経済的な生活安定と福祉の向上に努めることを目的とする。	H25	登別市社会福祉協議会	低所得者世帯の経済的な生活安定と福祉の向上を図るため、たすけあい金庫貸付原資金として社会福祉協議会に貸付を行った。【主な貸付対象】応急生活費、高額療養費の貸付	たすけあい金庫（応急援護資金）貸付規程、たすけあい金庫（応急援護資金）貸付審査委員会規程	貸付金額（年度ベース）	千円	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	社会福祉協議会へ貸付することにより、たすけあい金庫事業の安定的な運営を支援し、低所得者世帯の自立更生と生活の安定を図ることから、必要な事業である。	社会福祉協議会への貸し付けを継続し、低所得者世帯の経済的な生活安定を図っていく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他	貸付金回収元金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000					
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源								H27	上記のとおり			
		13411001																				合　計		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000					
2	1-①	災害見舞金	保健福祉部	社会福祉G	S49	－	ソフト	一般会計	災害や自然災害で被害を受けた市民の金銭的な救援を目的とする。	H25	被害者、遺族等（登別市災害見舞金条例第３条）	市民が災害や自然災害により次の被害を受けた際、被害状況に応じて災害見舞金を支給した。・住居の被害：全壊、流失、埋没、半壊、半流失、半埋没・人身の被害：死亡、負傷	登別市災害見舞金条例、登別市災害見舞金条例施行規則	住居被害による見舞金支給額（年度ベース）	千円	20	0	180	180	180	180	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	被災者に見舞金を支給することで、対象世帯の経済状況の悪化を軽減することができる。	今後も支給を続けることで、災害や自然災害で被害を受けた市民の金銭的な救援を行っていく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり			
														人身被害による見舞金支給額	千円	10	0	120	120	120	120	その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		30	0	300	300	300	300	H27	上記のとおり			
		13411002																				合　計		30	0	300	300	300	300					
3		臨時福祉給付金給付事業	保健福祉部	社会福祉G	H26	－	ソフト	一般会計	消費税率の引上げに際し、低所得者に与える影響に鑑み、臨時福祉給付金を給付することにより、経済的負担を軽減することを目的とする。	H25				臨時福祉給付金受給者数	人		10,419	10,772	10,772	10,772	10,772	国庫支出金	給付事業費補助金、給付事務費補助金		145,758	79,332	50,388	50,388	50,388	H25以前		維持	臨時福祉給付金を支給することで、低所得者の経済的負担を軽減することができる。	今後も支給を続けることで、低所得者の経済的負担の軽減を図っていく。
																						道支出金													
										H26	平成26年度分の市民税が課税されていない者	平成26年度分の市民税（均等割）が課税されていない者（市民税（均等割）が課税されている者の扶養親族等を除く）を給付対象とし、一人につき１万円（老齢基礎年金や児童扶養手当等の受給者に対しては５千円を加算給付）を支給した。	登別市臨時福祉給付金支給事業実施要綱									地方債								H26	平成２６年度から始まった事業			
																						その他													
										H27	平成27年度分の市民税が課税されていない者	平成27年度分の市民税（均等割）が課税されていない者（市民税（均等割）が課税されている者の扶養親族等を除く）を給付対象とし、一人につき６千円を支給する。	上記のとおり									一般財源								H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
		13411010																				合　計		0	145,758	79,332	50,388	50,388	50,388					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																							Check				Action
									事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】											第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案							
4	1-②	母子家庭等自立支援事業（高等技能訓練促進給付金） 13412001	保健福祉部	子育てG	H16	－	ソフト	一般会計	ひとり親家庭の保護者の職業能力を向上させることにより、ひとり親家庭の社会的自立を目的とする。	H25	ひとり親家庭の保護者	・高等技能訓練促進給付金 高等技能訓練（看護師等）期間中の生活を支援するため、給付金を支給した。	母子及び寡婦福祉法、登別市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱、登別市高等技能訓練促進費等事業実施要綱	高等職業訓練促進給付金受給者数	人	2	1	3	3	3	3	国庫支出金	高等職業訓練促進給付金補助金	1,572	672	2,434	1,269	1,269	1,269	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	訓練終了後の世帯の所得水準は着実に向上しており、社会的自立を促す効果が認められることから、事業を実施する。	訓練終了後の世帯の所得水準は着実に向上しており、社会的自立を促す効果が認められることから、事業を実施していく。
																						道支出金														
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債										H26	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他														
										H27	上記のとおり	・高等職業訓練促進給付金 高等職業訓練（看護師等）期間中の生活を支援するため、給付金を支給した。	母子及び寡婦福祉法、登別市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱、登別市高等職業訓練促進給付金等事業実施要綱									一般財源		524	199	812	423	423	423	H27	上記のとおり			
																						合 計		2,096	871	3,246	1,692	1,692	1,692					
5	1-②	母子家庭等自立支援事業(自立支援教育訓練給付金) 13412002	保健福祉部	子育てG	H16	－	ソフト	一般会計	ひとり親家庭の保護者の職業能力を向上させることにより、ひとり親家庭の社会的自立を目的とする。	H25	ひとり親家庭の保護者	・自立支援教育訓練給付金 職業教育訓練（ヘルパー資格）費用の２割を訓練終了後に支給。	母子及び寡婦福祉法、登別市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱	自立支援教育訓練給付金受給者数	人	0	0	2	2	2	2	国庫支出金	自立支援教育訓練給付費補助金	0	0	30	180	180	180	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	訓練終了後の世帯の所得水準は着実に向上しており、社会的自立を促す効果が認められることから、事業を実施する。	訓練終了後の世帯の所得水準は着実に向上しており、社会的自立を促す効果が認められることから、事業を実施していく。
																						道支出金														
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債										H26	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他														
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		0	0	10	60	60	60	H27	上記のとおり			
																						合 計		0	0	40	240	240	240					